

平成29年度 第4回調査・研究委員会会議録

◇日 時：平成29年12月26日（火） 13：30～17：00

◇場 所：茨城県立歴史館第1講座室

◇出席者：忍田委員長代理・宮田副委員長・大木委員・高村委員・林委員
事務局（笹目・富田・吉田・石井）

1 開会 委員長（代理）あいさつ

2 報告事項

（1） 第7回文化遺産防災ネットワーク推進会議について

11月22日に東京国立博物館で開催された上記会議につき、事務局から報告があった。会議中、全史料協の活動として、台風18号に伴う浸水被害による大分県津久見市庁舎水損文書の救援について報告した旨が伝えられた。

（2） 後援承認事務について

デジタルアーカイブ学会第2回研究大会の後援名義使用を承認したことが報告された。

3 協議事項

（1） 調査・研究事業のアンケートについて

① 今後の流れの確認

1月中～下旬発送、2月下旬回収、3～5月集計、集計結果の検討、5月第一回委員会にて現地調査や報告書作成を検討、という今後の予定が確認された。

② 趣旨文の検討

相模原全国大会で発表したアンケートの趣旨説明をもとに、趣旨文について検討した。具体的なアンケート項目が完成した上で、最終稿を作成することを確認した。

③ アンケート実施対象の確認

アンケートは、「平成23年（2011）東北地方太平洋沖地震にかかる災害救助法」が適用された自治体（市町村）及びその市町村のある県を対象とする。帰宅困難者の発生に伴う適用である東京都は除外する。

岩手県（34市町村）・宮城県（35）・福島県（59）・青森県（2）・茨城県（37）
栃木県（15）・千葉県（4） 合計 7県 186市町村

④ アンケート内容の確認

担当委員作成の案をもとに、アンケート内容について協議した。

アンケートは「平時の文書保存・管理に関するもの」と、「東日本大震災関連文書（緊急対応時）に関するもの」の2本立てとし、今回の協議をもとにアンケート項目の追加・補正を行い、メールにて稟議することが確認された。

(2) 来年度の公文書館機能普及セミナーについて

12月19日、静岡県庁において担当委員と事務局が静岡県経営管理部総務局法務文書課へ打診したところ、同県から前向きに取り組みたい旨の回答を得た。今後は、静岡県からの要望をふまえて、セミナーの具体的な内容を担当委員を中心に詰めていくことが確認された。

(3) 功労者・若手優秀アーキビストへの表彰制度について

来年度の表彰を、6月の総会で実施する場合は既存の規程を運用し、11月の全国大会で実施する場合は担当委員作成の「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会表彰規程（案）」もとに制度設計をして実施する、といった内容を、会長事務局に報告することを確認した。

(4) 第2回役員会提出資料について

今年度事業報告と来年度事業計画、及び今年度決算報告と来年度予算の見通しについて事務局より報告がなされた。

(5) その他

- ・ ブログの廃止を2月の役員会で報告する
- ・ 来年度に向けての事業確認

4 閉会